

## 算数部 活動報告

部長 榎本 和代（きのと小学校）

### 1 活動のねらい

講演や実践・教材等の情報交換を通して、授業力の向上及び小中の連携を図る。

### 2 活動内容

(1) 活動計画立案（5月）

(2) 講演会（8月）

① 講演 算数・数学における小中連携等について

② 講師 新発田市教育委員会 教育センター  
指導主事 浮須 與志夫 様

③ 概略

- ・ 小中連携が言われ始めた背景と小中連携の必要性（学力に地域間格差、学校間格差）
- ・ 歴史からみる算数・数学教育の難しさ
- ・ よりよい授業のための具体的な指導方法（分数指導、指名の仕方、板書の仕方、ノート指導、グループ学習の生かし方等）
- ・ 新学習指導要領の算数科・数学科の目標から分かること（算数的活動、数学的活動の重要性とその内容）
- ・ 意欲的に取り組む繰り返し学習の在り方（外発的動機付けと内発的動機付け）

(3) 実践発表会（11月）

① 3・4人の小グループ（小中学校混合）による実践発表

② 実践発表の内容

- ・ 導入や授業構成、授業形態（グループ学習）の工夫
- ・ 言語活動の充実を図るための工夫
- ・ 課題の選定・提示の工夫
- ・ ワークシートの工夫
- ・ 教材教具の工夫 等



### 3 成果と課題

(1) 成果

- ① 講演会では、小中連携の在り方や算数・数学指導でどうすることが大切なのか等、知識を深めることができた。また、講演の中に演習もあり、より実践的で充実した時間をもつことができた。
- ② 実践発表会では、小中学校での実践のどちらも聞くことができ、活発な意見交換の中で小中の連携を図ることができた。また、今後の授業実践に生かせるものが多く、有意義であった。

(2) 課題

- 実践発表では、テーマを決めずに、個々の発表であったが、テーマを決めて実践を持ち寄り、部員相互の指導力を高めていくこともよいのではないかと。